

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 02 月 14 日作成)

小委員会名	ブロック塀新構工法開発小委員会	主 査 名：川上勝弥 就任年月： 2003 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会(組積工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄 主 査 名：守 明子
設 置 期 間	2003 年 04 月 ~ 2007 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ブロック塀は、建築基準法にその最低限の仕様が示されているが、設計、施工及び耐久性等の観点から多くの問題点が指摘されている。ここでは、現行基準を尊重しつつ、それらに拘束されることなく、デザインされた町並みに調和する安全で安心なものとして機能できるブロック塀の新しい構工法について検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 川上勝弥(主査・小山工業高等専門学校)、三田紀行(幹事・職業能力開発総合大学校)、石井克侑(全国建築コンクリートブロック工業会)、岡田敏夫(全国赤煉瓦協会)、岡本公夫(元鹿島建設)、斉藤栄三(日本建築ブロックエクステリア工事業協会)、阪上進也(STEP 工法開発機構)、千歩修(北海道大学)、根井浩(元大成建設)、西山光昭(日本工業大学)、松村晃(神奈川大学)、中岡章郎(長谷工コーポレーション)、長谷川直司(国土技術政策総合研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2005 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無し
講習会	無し
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無し
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	設置 3 年目の本年度は、ブロック塀の安全性を確保するための方策について JASS 7「6 節 メーソソニー塀工事」改定を視野に入れ検討した。これらは次年度にまとめる予定の活動成果の基礎となるものである。
委員会活動の問題点 ・課題	1. JIS A 5406 改正への対応 2. 改定される 日本建築学会「コンクリートブロック塀設計規準」への対応 3. JASS 7 改定に向けた具体的な提言

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通

項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。